

思いを込めた たすきをつなぐ あっぱりレーマラソン2022大会を開催



チームの精鋭たちが一斉にスタート

あっぱりレーマラソン2022大会は9月11日、安比高原の特設コース(1周2^{キロ}のコースをリレー形式でつなぎ、フルマラソンの距離を競う)を会場に開かれました。

新型コロナウイルス感染症の影響で一昨年は中止、昨年はバーチャル大会で開催。リアル大会としては3年ぶりとなった本大会には、一般・男子・小学生・職場・ファミリーの部の5部門に県内外から181チーム、1,536人がエントリー。職場部門には、ハロウィンターナショナルスクール安比校も出場しました。

選手たちは上りが続く終盤のコースに苦戦しながらも、仲間や沿道からの声援を受けながら、たすきをつなぐため、自分の限界に挑みました。



①__前回大会優勝のT-Nexの選手による選手宣誓 ②__アップダウンの激しいコースに苦戦しながらも、仲間の思いがこもったたすきをつなぐ選手 ③__総合優勝に輝いた北上ジョギング同好会



大会参加者の声



一般部門 NO.220、221

＝田山スポ少＝

■チームPR

必勝 必笑 みんなで楽しく走ります!!

■走り終わった感想

佐藤 寛也君(写真左) 3周走りました。最後の上り坂がきつくて大変だったけど仲間たちの応援があったから最後まで走りきることができました。

関 新菜さん(写真右) 3周走りました。下り坂や上り坂のアップダウンが激しく大変だったけど、仲間たちとゴールできてうれしかったです。



一般部門 NO.265

＝MRC＝

■チームPR

楽しくゆるく活動しているランクルーです。楽しくゆるく頑張ります!

■出場したきっかけ

元々走るのが得意ではなかったけど、健康のために走り始めました。だんだんに走り終わった後の爽快感にハマリ、仲間に声を掛け、グループで走るようになり、地元開催のあっぱりレーに出ました。

■走り終わった感想

全チームの中で一番楽しんで走れたと思う。